

島嶼コミュニティ研究所 ことはじめ

島嶼コミュニティ学会は、本年度より島嶼コミュニティ研究所を立ち上げました。研究員としてお迎えしたお三方それぞれに、今までの道筋・研究の現況、そして今後の展望や抱負などを語っていただきます。

日時:2023年10月7日(土) 14:00~16:00 13時30分 開場

会場:東洋大学 赤羽台キャンパス

東京都北区赤羽台1丁目7-11 WELLB 門 WELLB HUB-2

■福山 祐介 氏『島嶼地域の高校生・保護者・高校教員が求めている入試広報』

オープンキャンパスなど、入試広報イベントのオンライン化も進んでおり、大学側の島嶼地域へのアプローチも、益々拡充が見込まれています。

■本多 俊貴 氏『地域自治と村落:農村社会学の視点と方法に基づいて』

本報告では、農村社会学におけるモノグラフ研究法の現代的意義とその課題を見直しつつ、報告者の主な研究課題「地域自治」の考察を行います。

■内藤 幹生 氏『島嶼コミュニティ研究所研究員としての展望』

現在の研究課題は信仰と地域社会の関わりについて、島嶼を含む長崎近郊のキリシタンの信仰を事例に、その特性を明らかにすることです。

資料代 500円

申し込み・お問い合わせ:

島嶼コミュニティ学会事務局 池田(ikeday31@pop.juris.hokudai.ac.jp)

zoom 参加可能(10月3日までに要申し込み)

■当日のお問い合わせ:土屋(tsuchiya@pf6.so-net.ne.jp)

